

EPSON

EPSON OPOS ADK マニュアル

インストールマニュアル Installer

Version 2.40 Oct. 2004

Copyright © 2000-2004 SEIKO EPSON CORPORATION

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容につきましては万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたらご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- (5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft、Windows NT、Windows 2000、Windows XP、Visual Basic、Visual C++ は米国マイクロソフト社の登録商標です。

EPSON は、セイコーエプソン（株）の登録商標です。

ESC/POS は、セイコーエプソン（株）の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。

目次

第1章 開発全般	1
1.1 特徴	1
1.2 動作環境	1
1.3 必要なシステム構成	7
第2章 インストール	9
2.1 インストールの特徴	9
2.2 インストールディスクの説明	10
2.3 インストールに必要なシステムファイル	10
2.4 インストール操作	10
2.4.1 はじめてインストールする場合	11
2.4.2 上書きインストールする場合	15
2.5 インストールされるファイル	22
2.6 インストールの種類	23
2.7 CO の登録	24
2.8 INI ファイル	25
2.9 システム設定ファイル	25
2.10 レジストリファイルを使用したインストール方法	25
2.11 アドイン機能 (サービスパック) について	26
2.12 サイレンスインストール	30
2.13 メッセージ	34
2.13.1 起動時のメッセージ	34
2.13.2 インストール動作中のメッセージ	36
2.13.3 インストール後のドライバインストール時のメッセージ	36
2.13.4 サイレンスモード指定時のメッセージ	37
2.13.5 レジストリファイル関連のメッセージ	38
2.13.6 共存インストール時のメッセージ	39
2.13.7 アドインインストールのメッセージ	39
2.14 インストール時の注意	40
2.15 アンインストール	42
2.16 アンインストール操作	43
2.17 アンインストールの種類	44
2.18 サイレンスアンインストール	44
2.19 システムファイルのアンインストール	45
2.20 アンインストールメッセージ	45
2.21 アンインストール時の注意	47

第1章 開発全般

ここでは、EPSON OPOS ADK の概要について説明します。

1.1 特徴

EPSON OPOS ADK は、POS システムを構成する周辺機器に係わるインタフェースの標準化を行い、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP のプラットフォーム上でサポートされる ActiveX Control を用いて、Visual Basic から容易に利用できる API 関数を提供します。

標準化された API を用いて POS アプリケーションを開発することにより、オープンで多機能な POS システムの構築が可能となります。

1.2 動作環境

EPSON OPOS ADK は、以下の環境で動作を確認しています。

- コンピュータ本体

IBM PC/AT 互換機

- オペレーティングシステム

Windows NT 4.0 日本語版

Windows 2000 日本語版

Windows XP 日本語版

各オペレーティングシステムのバージョンの詳細につきましては、インストールディスクに同梱されているリリースノート (Relnote.txt) を参照してください。

Internet Explorer (日本語版) : バージョン 5.0 以上 (推奨)

- 対象シリアルポート

COM1,COM2,COM3,COM4 (拡張ポートの使用により COM5 ~ COM10 も使用可能)

- 対象パラレルポート

LPT1,LPT2,LPT3 (ただし、LPT3 に関しては動作未確認)

- 対象 USB ポート

次の条件を満たしていることが必要となります。

- ・ USB コネクタを持ち、USB 拡張カードを使用した IBM PC/AT 互換機に正常に USB 機器が接続されていること。
- ・ 使用時には、Windows 2000、または Windows XP が稼働していること。

なお、Windows 98 日本語版以前に発売された USB コネクタを持つ IBM PC/AT 互換機を使用していて、USB デバイスの認識等が正常に行えない場合は、使用している IBM PC/AT 互換機メーカーにお問い合わせください。

■ 対象ネットワーク

TCP/IP をサポートしたネットワークと IEEE802.11b 環境下で動作します。

ネットワークの各種設定は、使用するネットワーク環境の管理者にお問い合わせください。

■ サポート言語

Microsoft Visual BASIC Ver5.0 以上 日本語版

Microsoft Visual C++ Ver5.0 以上 日本語版

■ 対象デバイス

【ドロー (CashDrawer)】

EPSON DSA-35ED

EPSON DSA-35EDP (並列/F)

EPSON DSA-35EDU (USB)

EPSON DSA-35EDE (Ethernet)

EPSON DM-Z460 (松代金属)

EPSON DM-Z460P (松代金属 (並列/F))

EPSON DM-Z460U (松代金属 (USB))

EPSON DM-Z460E (松代金属 (Ethernet))

EPSON DM-Z461 (松代金属)

EPSON DM-Z461P (松代金属 (並列/F))

EPSON DM-Z461U (松代金属 (USB))

EPSON DM-Z461E (松代金属 (Ethernet))

EPSON DM-Z400 (松代金属)

EPSON DM-Z400P (松代金属 (並列/F))

EPSON DM-Z400U (松代金属 (USB))

EPSON DM-Z400E (松代金属 (Ethernet))

EPSON MULTI_A (For 2 Drawer)

EPSON MULTI_B (For 2 Drawer)

EPSON MULTI_AP (For 2 Drawer (並列/F))

EPSON MULTI_BP (For 2 Drawer (並列/F))

EPSON MULTI_AU (For 2 Drawer (USB))

EPSON MULTI_BU (For 2 Drawer (USB))

EPSON MULTI_AE (For 2 Drawer (Ethernet))

EPSON MULTI_BE (For 2 Drawer (Ethernet))

【キーロック (Keylock)】

EPSON DM-K550 (MUSTEC KB-2100)
EPSON DM-K555 (MUSTEC KB-2100M)
EPSON DM-K128 (GIGA KB128)
EPSON IM-300 (For cubie (IM-300))
EPSON IM-310 (For cubiell (IM-310))
EPSON IM-320 (For cubielll (IM-320))

【ラインディスプレイ (LineDisplay)】

EPSON DM-D101
EPSON DM-D102
EPSON DM-D102U (USB)
EPSON DM-D105
EPSON DM-D106
EPSON DM-D106U (USB)
EPSON DM-D110
EPSON DM-D110U (USB)
EPSON DM-D202
EPSON DM-D203
EPSON DM-D203U (USB)
EPSON DM-D205
EPSON DM-D206
EPSON DM-D206U (USB)
EPSON DM-D210
EPSON DM-D210U(USB)
EPSON DM-D102-015 (For cubie シリーズ (IM-320 は除く))
EPSON DM-D106-215 (For cubie シリーズ (IM-320 は除く))
EPSON DM-D500
EPSON DM-D500U (USB)

【磁気ストライプリーダー (MSR)】

EPSON DM-K555 (MUSTEC KB-2100M)
EPSON DM-K845 (GIGA KB953J)
EPSON DM-A310 (GIGA MJR433)
EPSON DM-MR111-012 (For cubie シリーズ (IM-320 は除く))

EPSON DM-MR111-013 (For cubie シリーズ (IM-320 は除く))
EPSON DM-MR112 (For cubie シリーズ)
EPSON DM-MR123 (For cubie シリーズ)
EPSON DM-MS112 (For URBAN (IM-600))
EPSON DM-MS123 (For URBAN (IM-600))

【プリンタ (Printer)】

EPSON TM-T285M
EPSON TM-T285PM (並列/F)
EPSON TM-T285MU (USB)
EPSON TM-T285ME (Ethernet)
EPSON TM-U375M
EPSON TM-U950M
EPSON TM-U950PM (並列/F)
EPSON TM-U590M
EPSON TM-U590PM (並列/F)
EPSON TM-U590MU (USB)
EPSON TM-U590ME (Ethernet)
EPSON TM-U210AM
EPSON TM-U210ARM (For cubie シリーズ)
EPSON TM-U210APM (並列/F)
EPSON TM-U210AMU (USB)
EPSON TM-U210AME (Ethernet)
EPSON TM-300AM (TM-U300AM)
EPSON TM-300BM (TM-U300BM)
EPSON TM-300DM (TM-U300DM)
EPSON TM-295 (TM-U295)
EPSON TM-295P (TM-U295P) (並列/F)
EPSON TM-L60II
EPSON TM-L60IIP (並列/F)
EPSON TM-T88IIM
EPSON TM-T88IIRM (For cubie シリーズ)
EPSON TM-T88IIPM (並列/F)
EPSON TM-T88IIMU (USB)
EPSON TM-T88IIME (Ethernet)
EPSON TM-H5000IIM

EPSON TM-H5000IIPM (並列/F)
EPSON TM-H5000IIMU (USB)
EPSON TM-H5000IIME (Ethernet)
EPSON TM-H6000M
EPSON TM-H6000PM (並列/F)
EPSON TM-H6000MU (USB)
EPSON TM-H6000ME (Ethernet)
EPSON TM-U675M
EPSON TM-U675PM (並列/F)
EPSON TM-U675MU (USB)
EPSON TM-U675ME (Ethernet)
EPSON TM-T90M
EPSON TM-T90PM (並列/F)
EPSON TM-T90MU (USB)
EPSON TM-T90ME (Ethernet)
EPSON TM-U210DM
EPSON TM-U210DPM (並列/F)
EPSON TM-U210DMU (USB)
EPSON TM-U210DME (Ethernet)
EPSON TM-U210BM
EPSON TM-U210BPM (並列/F)
EPSON TM-U210BMU (USB)
EPSON TM-U210BME (Ethernet)
EPSON TM-L90M
EPSON TM-L90PM (並列/F)
EPSON TM-L90MU (USB)
EPSON TM-L90ME (Ethernet)
EPSON TM-J2000M/J2100M
EPSON TM-J2000PM/J2100PM (並列/F)
EPSON TM-J2000MU/J2100MU (USB)
EPSON TM-J2000ME/J2100ME (Ethernet)
EPSON TM-T88IIRM-051(For cubie シリーズ)
EPSON TM-T88IIM
EPSON TM-T88IIPM (並列/F)
EPSON TM-T88IIMU (USB)
EPSON TM-T88IIME (Ethernet)

EPSON TM-U220AM
EPSON TM-U220APM (パラレル/F)
EPSON TM-U220AMU (USB)
EPSON TM-U220AME (Ethernet)
EPSON TM-U220BM
EPSON TM-U220BPM (パラレル/F)
EPSON TM-U220BMU (USB)
EPSON TM-U220BME (Ethernet)
EPSON TM-U220DM
EPSON TM-U220DPM (パラレル/F)
EPSON TM-U220DMU (USB)
EPSON TM-U220DME (Ethernet)
EPSON TM-H6000IIM
EPSON TM-H6000IIPM (パラレル/F)
EPSON TM-H6000IIMU (USB)
EPSON TM-H6000IIME (Ethernet)
EPSON TM-P60M
EPSON TM-P60MW (IEEE802.11b)

【バーコードスキャナ (Scanner)】

EPSON DM-S160 001 (DENSEI/Nitsuko/NEC BCH5442-SEA)
EPSON DM-S500 (松下産業機器 ZE-87RMS2C)
EPSON DM-S160 021 (松下産業機器 ZE-84RMSMV)
EPSON DM-S160 011 (松下産業機器 ZE-84RMFME)
EPSON DM-S160 031 (松下産業機器 ZE-84RMFPE1)
EPSON DM-S160 012 (松下産業機器 ZE-84RMFPE)

【ハードトータル(HardTotals)】

EPSON IM-505 NVRAM
EPSON IM-515 NVRAM
EPSON IM-300 NVRAM (For cubie (IM-300))
EPSON IM-310 NVRAM (For cubiell (IM-310))
EPSON IM-310 CompactFlash (For cubiell (IM-310))
EPSON IM-320 CompactFlash (For cubiell (IM-320))
EPSON IM-600 CompactFlash (For URBAN (IM-600))

1.3 必要なシステム構成

EPSON OPOS ADK を使用したアプリケーションを開発するには、次のようなハードウェア、およびソフトウェア構成が必要です。

- コンピュータ本体
IBM PC/AT 互換機
- オペレーティングシステム
Windows NT 4.0 日本語版
Windows 2000 日本語版
Windows XP 日本語版
- フロッピーディスクドライブ
フロッピーディスクドライブ1台以上
- ハードディスク、メモリ
使用するOS(Windows NT4.0,Windows 2000,Windows XP)が推奨している容量に加え、ハードディスクの空き容量が最低でも10Mバイト必要です。
- パッケージの内容
次に示す内容がすべて揃っていることをご確認ください。
パッケージの内容は、次のとおりです。

ディスク：

「EPSON OPOS ADK インストールディスク」というラベルが貼ってあるディスクには、EPSON OPOS ADK に関するソフトウェアやマニュアルが格納されています。

< サンプルプログラム >

EPSON OPOS ADK インストールディスクには、デバイスごとのサンプルプログラムが用意されています。使用方法につきましては、「EPSON OPOS ADK マニュアル 操作マニュアル Sample Program」を参照してください。

< マニュアル >

EPSON OPOS ADK のパッケージには次のマニュアルが含まれます。

- ・ 「ユーザーズガイド」
EPSON OPOS ADK のインストール、環境設定の方法について記述したガイドです。
- ・ 「アプリケーション開発ガイド」
周辺機器の制御方法について、プログラミング例を用いて説明したガイドです。
EPSON OPOS ADK 全般、および各デバイスの一般的なことが記載されて

いる共通編と、それぞれの機種に依存する事項が書かれている機種別編とに分かれています。

「EPSON OPOS ADK マニュアル アプリケーション開発ガイド 開発全般」の共通編と、お使いになる機種のドキュメントを参照してください。

- ・「サンプルプログラムガイド」

サンプルプログラムの概要や詳細説明、注意事項が記載されています。

第2章 インストール

EPSON OPOS ADK のインストールプログラムを実行することで、EPSON OPOS ADK のインストールに必要なすべての処理を行うことができます。

インストールでは、OPOS を快適に使用していただくための幾つかの機能を提供しています。詳細につきましては、本章をお読みください。

インストール/再インストールを行う場合は、OPOS のファイルを使用しているアプリケーションはもちろんのこと、他のアプリケーションが動作していないことを必ずご確認ください。

EPSON OPOS ADK をインストールした後は、ポート、およびデバイスの環境設定を確認していただく必要があります。

詳細につきましては、「EPSON OPOS ADK マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」の「第4章 SetupPOS ユーティリティ」を参照してください。以下に、EPSON OPOS ADK のインストールプログラムについてご説明します。

2.1 インストールの特徴

本インストールは、InstallShield5.5 を使用して作成されています。

大きく分けると以下の処理を実現します。

- ・インストール先ディレクトリの指定
- ・インストール先スタートメニューフォルダの指定
- ・OPOS に関する初期設定の指定
- ・REG ファイルの指定
- ・タイプ別インストール
 - ・フルインストール(すべて)
 - ・カスタムインストール
 - ・デバイスクラス単位の選択
 - ・CCO/CO の選択
- ・タイプ別アンインストール
 - ・フルアンインストール(すべて)
 - ・カスタムアンインストール
 - ・デバイスクラス単位の選択
- ・REG ファイルを使用した OPOS 環境の復元
- ・前バージョンからの情報継承

- ・アドイン（サービスパック対応）
- ・ Silent モードのインストール / アンインストール

2.2 インストールディスクの説明

インストールディスクは、複数枚の構成になっています。
インストール手順に従い、ディスクの入れ替えを行ってください。
CD からインストールをされる方は、特に意識する必要はありません。

2.3 インストールに必要なシステムファイル

本ソフトウェアには、下記のバージョン以上のシステムファイルが必要です。
インストールでは、あらかじめ、インストールマシンに存在するこれらのファイルを
チェックし、必要なバージョンを Windows ディレクトリのシステムディレクトリ
の下にコピーします。この時、既に存在する下記のファイルが読み取り専用である
場合はコピーされませんのでご注意ください。

MFC42.DLL	Version 6.00.8168.0 *Copyright (C) Microsoft Corp. 1993-1998
MSVCRT.DLL	Version 6.00.8168.0 *Copyright (C) Microsoft Corp. 1981-1998
OLEAUT32.DLL	Version 2.40.4275 *Copyright (C) Microsoft Corp. 1993-1998
STDOLE2.TLB	Version 2.40.4275 * Copyright (C) Microsoft Corp. 1993-1998
OLEPRO32.DLL	Version 5.0.4275 * Copyright (C) Microsoft Corp. 1993-1998
COMCTL32.DLL * ¹	Version 5.80.2614.3600 *Copyright (C) Microsoft Corp. 1981-1999

*¹ COMCTL32.DLL は、別 Disk で再配布している 50Comupd.exe を実行することにより配布されます。上記バージョン以上の COMCTL32.DLL がシステムに存在しなかった場合、インストーラはメッセージを表示してインストール処理を終了します。50Comupd.exe を実行した後、再度インストールを実行してください。

2.4 インストール操作

以下に、インストール方法を記載します。

なお、Windows NT4.0 / Windows 2000 / Windows XP をご使用の場合は、使用するマシンの特権レベルを持ったユーザ以外はインストールを行うことができません。使用するマシンの特権レベルを持つユーザにご相談ください。

また、USB の POSPrinter, LineDisplay, CashDrawer を使用する場合は、「EPSON TM USB Driver」（EPSON USB Controller for TM Printer Series）をインストールしておく必要があります。「EPSON TM USB Driver」がインストールされていない場合は、USB を使用したデバイスの登録が正常に行われません。

EPSON の USB デバイスを使用する場合は、Windows 2000、および Windows XP を使用してください。「EPSON TM USB Driver」につきましては、「EPSON OPOS ADK マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」の「第 5 章 EPSON TM USB Driver」を参照してください。

2.4.1 はじめてインストールする場合

< インストール手順 >

Disk-1 のディスク内にある SETUP.EXE を実行してください。

この時、他のプログラムはすべて終了させてください。

そうでなければ、インストールに失敗する場合があります。

起動するまでに十数秒かかりますので、しばらくお待ちください。

「ようこそ」ダイアログが表示されます。

内容をお読みいただき、了解されましたら [次へ] ボタンを選択してください。

「製品ライセンス契約」ダイアログが表示されます。

EPSON OPOS ADK をインストールするには、表示されている契約に同意していただく必要があります。内容をお読みいただき、同意されましたら「使用許諾に同意します」を選択してください。

選択すると [次へ] ボタンが有効になりますので、[次へ] ボタンを選択してください。

[次へ] ボタンを選択すると、ライセンス契約同意について再確認のメッセージが表示されます。

同意で宜しければ、[はい] ボタンを選択してください。

同意されない場合は、[いいえ] ボタンを選択し、「使用許諾に同意しません」を選択した後に [キャンセル] ボタンを選択してください。インストールを終了します。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「レジストリファイルのインポート」ダイアログが表示されます。

REG ファイルを使用しない場合には、「レジストリファイルは使用しない」を選択し、[次へ] ボタンを選択してください。

REG ファイルを使用する場合には「レジストリファイルを使用する」を選択してください。選択するとテキストボックスが有効になります。

使用する REG ファイルをフルパス指定で入力(デフォルトではフロッピードライブに在り処を示す “ A:¥OPOSDATA.reg ” が入力されています)し、[次へ] ボタンを選択してください。[参照] ボタンを選択してフォルダを指定することも可能です。

REG ファイルとは、EPSON OPOS ADK に関する情報を復元するためのファイ

ルです。SetupPOS ユーティリティを使用して作成してください。不正なレジストリファイルが選択された場合には、エラーメッセージが表示され、次のダイアログボックスに移ることはできません。エラーメッセージに従い、レジストリファイルが正しいかどうかを確認してください。

レジストリファイルが正しく設定されると、これ以降の情報はレジストリファイルから参照されます。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「ユーザの情報」ダイアログが表示されます。

名前と会社名を入力してください。両方が入力されなければ、[次へ] ボタンが有効になりません。

あらかじめ、マシンに情報が設定されている場合は、その情報が表示されます。レジストリファイルが指定されている場合には、レジストリファイルより参照されます。

入力されましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

[戻る] ボタンを選択した場合は、設定された内容は破棄されます。

「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。

あらかじめ、デフォルトのディレクトリが表示されています。デフォルトは、Windows がインストールされているドライブにある Program Files\Epson2 です。

変更する場合は、[参照] ボタンでディレクトリの選択画面を表示し、ディレクトリを選択してください。

レジストリファイルが指定されている場合には、レジストリファイルより参照されます。こちらは、変更をすることができません。

確認、あるいは変更が終わりましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

[戻る] ボタンを選択した場合は、設定されたディレクトリは保持されません。

[次へ] ボタンを選択した場合で、指定されたディレクトリにすでに他の構成や言語で EPSON OPOS ADK がインストールされている場合には、エラーが表示され、設定することはできません。インストール先を変更するか、すでにインストールされている EPSON OPOS ADK を確認してください。

「インストールモジュールの選択」ダイアログが表示されます。

インストールするモジュールを選択(チェック)してください。モジュールには「プログラムファイル(OPOS ADK)」、「サンプル」、「マニュアル」があります。

決定しましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「登録する CO の選択」ダイアログが表示されます。

登録する CO を選択してください。ここで登録された CO は全デバイスにおいて有効になります。

タイプが決定しましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「インストールタイプの選択」ダイアログが表示されます。

フルインストールか、カスタムインストールのどちらかを選択してください。

フルインストール、およびカスタムインストールの詳細につきましては、本マニュアルの「2.6 インストールの種類」を参照してください。

ここでカスタムインストールを選択されると、「コンポーネントの選択」ダイアログが表示されます。必要なコンポーネントを選択してください。

なお、「コンポーネントの選択」ダイアログ中に表示されるデバイス名は、スペースの都合上、名前を短縮する場合があります。

(例) "Totals"とは、"HardTotals"を示します。

CO、CCO の登録は、デバイスごとに設定することができます。

CO、CCO のいずれも登録されない場合は、Used CO のチェックを外してください。この設定はデバイスごとに必要になります。

次のダイアログに進まれる場合は、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「プログラムフォルダの選択」ダイアログが表示されます。

あらかじめ、決められているフォルダ名が表示されています。レジストリファイルが指定されている場合には、レジストリファイルより参照されます。

通常は、変更せずにご使用ください。フォルダ名の変更や、既存のフォルダを選択することもできますが、既存のフォルダを使用される場合には、そのフォルダの特性を理解した上で選択してください。

ご使用の OS が Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP であった場合、フォルダはかならず COMMON 特性になります。

次のダイアログに進まれる場合は、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

[戻る] ボタンを選択した場合は、設定された内容は破棄されます。

「ファイルコピーの開始」ダイアログが表示されます。

ここでは、今まで設定した情報が表示されます。内容を確認されましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

ファイルのコピー、DLL,OCX の登録、レジストリへの設定を開始します。

すべてが処理されるまでには、数十秒から数分かかります。しばらくお待ちください。

ここでは [キャンセル] ボタンが有効になっていますが、特別な理由がない限りは途中で [キャンセル] ボタンを押さないでください。処理の途中で [キャンセル] ボタンが押された場合、その後の動作は保証されません。必ず、再インストールを行ってください。

すべての処理が終了すると、「セットアップの完了」ダイアログが表示されます。

また、インストールした EPSON OPOS ADK に関する情報が記載されたリリースノートを表示するかどうかをチェックボックスで選択することができます。必ず、お読みください。

ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP であった場合、EPSON TM USB Driver のインストールメッセージが表示されます。

EPSON の USB デバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。

ご使用の OS が Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP であった場合、パラレル I/F を使用するかどうかのメッセージが表示されます。

EPSON のパラレルデバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。推奨されるパラレル Driver をインストールします。

インストールにより、システムファイルが更新された場合には、システムの再起動を要求されることがあります。この場合には、その時点で再起動を行うか、後から再起動を行うかを選択し、実行してください。

なお、システムの再起動の要求で、後から再起動を行うように選択した場合は、必ずインストール終了後にシステムを再起動してください。再起動を行っていない環境での動作は一切保証されません。

インストールが完了しました。SetupPOS ユーティリティが自動的に起動します。「EPSON OPOS ADK マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」の「第 4 章 SetupPOS ユーティリティ」に記載されている仕様に従い、設定を確認してください。

なお、システムの再起動を行った場合は、SetupPOS ユーティリティは自動的に起動されませんので、スタートメニューから SetupPOS ユーティリティの起動を行ってください。

2.4.2 上書きインストールする場合

2.4.2.1 Version2.xx から Version2.xx への上書き

上書きインストールでは、前回指定したユーザの情報、インストール先の指定、プログラムフォルダの指定がそのまま使用されます。変更することはできません。Version2.xx の古いバージョンの EPSON OPOS ADK が既にインストールされている場合、新しいバージョンをインストールしようとするときアドインインストールが起動します。その際、既にインストールされているデバイス、及びファイルのみ上書きインストールされます。詳細につきましては、本マニュアルの「2.11 アドイン機能（サービスパック）について」を参照してください。

< インストール手順 >

Disk-1 のディスク内にある SETUP.EXE を実行してください。

この時、他のプログラムはすべて終了させてください。そうでなければ、インストールに失敗する場合があります。

起動するまでに十数秒かかりますので、しばらくお待ちください。

「ようこそ」ダイアログが表示されます。

内容をお読みいただき、了解されましたら [次へ] ボタンを選択してください。

「情報一覧」ダイアログが表示されます。

既にインストールされている EPSON OPOS ADK の情報が表示されます。内容を確認していただき、問題がなければ、[次へ] ボタンを選択してください。

「製品ライセンス契約」ダイアログが表示されます。

EPSON OPOS ADK をインストールするには、表示されている契約に同意していただく必要があります。内容をお読みいただき、同意されましたら「使用許諾に同意します」を選択してください。選択すると、[次へ] ボタンが有効になりますので、[次へ] ボタンを選択してください。

[次へ] ボタンを選択すると、ライセンス契約同意について再確認のメッセージが表示されます。

同意される場合は、[はい] ボタンを選択してください。

同意されない場合は、[いいえ] ボタンを選択し、「使用許諾に同意しません」を選択した後に [キャンセル] ボタンを選択してください。インストールを終了します。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「レジストリファイルのインポート」ダイアログが表示されます。

REG ファイルを使用しない場合には、「レジストリファイルは使用しない」を選択し、[次へ] ボタンを選択してください。

REG ファイルを使用する場合には、「レジストリファイルを使用する」を選択してください。選択すると、テキストボックスが有効になりますので使用する REG ファイルをフルパス指定で入力（デフォルトではフロッピードライブに在り処を示す“A:\%OPOSDATA.reg”が入力されています）し、[次へ] ボタンを選択してください。[参照] ボタンを選択してフォルダを指定することも可能です。

REG ファイルとは、EPSON OPOS ADK に関する情報を復元するためのファイルです。SetupPOS ユーティリティを使用して作成してください。

不正なレジストリファイルが選択された場合には、エラーメッセージが表示されて、次のダイアログボックスに移ることはできません。エラーメッセージに従い、レジストリファイルが正しいかどうかを確認してください。レジストリファイルが正しく設定されると、これ以降の情報はレジストリファイルから参照されます。上書きインストール時には、前回のインストール情報ではなく、レジストリファイルの情報が優先されます。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「インストールモジュールの選択」ダイアログが表示されます。

インストールするモジュールを選択（チェック）してください。モジュールには「プログラムファイル」、「サンプル」、「マニュアル」があります。

決定しましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「登録する CO の選択」ダイアログが表示されます。

登録する CO を選択してください。ここで登録された CO は全デバイスにおいて有効になります。デフォルトでは既にインストールされている CO が選択されています。

既に設定された CO と現在設定する CO が違う場合は、ファイルコピーの開始後、以前に登録した CO を解除します。

タイプが決定しましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「インストールタイプの選択」ダイアログが表示されます。

フルインストールか、カスタムインストールのどちらかを選択してください。

フルインストール、カスタムインストールの詳細につきましては、「2.6 インストールの種類」を参照してください。

ここでカスタムインストールを選択されますと、「コンポーネントの選択」ダイアログが表示されます。必要なコンポーネントを選択してください。

CO、CCO の登録は、デバイスごとに設定することができます。

CO、CCO のいずれも登録されない場合は、Used CO のチェックを外してくだ

さい。この設定はデバイスごとに必要になります。

次のダイアログに進まれる場合は、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「ファイルコピーの開始」ダイアログが表示されます。

ここでは、今まで設定した情報が表示されます。内容を確認されましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

ファイルのコピー、DLL,OCX の登録、レジストリへの設定を開始します。

すべてが処理されるまでには、数十秒から数分かかります。

しばらくお待ちください。

ここでは [キャンセル] ボタンが有効になっていますが、特別な理由がない限りは途中で [キャンセル] ボタンを押さないでください。処理の途中で [キャンセル] ボタンが押された場合、その後の動作は保証されません。必ず再インストールを行ってください。

すべての処理が終了すると、「セットアップの完了」ダイアログが表示されます。

また、インストールした EPSON OPOS ADK に関する情報が記載されたリリースノートを表示するかどうかをチェックボックスで選択することができます。必ず、お読みください。

ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP であり、古い EPSON TM USB Driver がインストールされている、もしくはインストール情報が存在しない場合、EPSON TM USB Driver のインストールメッセージが表示されます。

EPSON の USB デバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。

ご使用の OS が Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP であり、パラレル Driver のインストール情報が存在しない場合、パラレル I/F を使用するかどうかのメッセージが表示されます。EPSON のパラレルデバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。推奨されるパラレル Driver をインストールします。

なお、パラレル Driver のインストールに成功すると、システムファイルが更新されるため、システムの再起動を確認するメッセージが表示されます。その時点で再起動を行うか、後から再起動を行うかを選択し、実行してください。

なお、システムの再起動の確認で、後から再起動を行うように選択した場合は、必ずインストール終了後にシステムを再起動してください。再起動を行っていない環境での動作は一切保証されません。

インストールが完了しました。SetupPOS ユーティリティが自動的に起動しま

す。「EPSON OPOS ADK マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」の「第4章 SetupPOS ユーティリティ」に記載されている仕様に従い、設定を確認してください。

なお、システムの再起動を行った場合は、SetupPOS ユーティリティは自動的に起動されませんので、スタートメニューから SetupPOS ユーティリティの起動を行ってください。

2.4.2.2 Version1.xx から Version2.xx への上書き

Version1.xx を使用されているユーザが、Version2.xx にすべてを置きかえる場合に限定されます。

上書きインストールでは、前回指定したユーザの情報、インストール先の指定、プログラムフォルダの指定がそのまま使用されます。変更することはできません。

<インストール手順>

～ の手順は、本マニュアルの「2.4.2.1 の Version2.xx から Version2.xx への上書き」と同様です。

「インストールタイプの選択」ダイアログが表示されます。

フルインストールかカスタムインストールかを選択してください。

カスタムインストールを行う場合は、Version1.xx でインストールされたデバイスは必ず指定してください。

フルインストール、カスタムインストールにつきましては、本マニュアルの「2.6 インストールの種類」を参照してください。ここでカスタムインストールを選択されると、「コンポーネントの選択」ダイアログが表示されます。必要なコンポーネントを選択してください。

CO、CCO のいずれも登録されない場合は、右側にあるウィンドウの Used CO のチェックを外してください。これは、デバイスごとに設定する必要があります。この指定方法を使用することにより、デバイスごとに CO/CCO を設定することが可能になります。

次のダイアログに進まれる場合は、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「ファイルコピーの開始」ダイアログが表示されます。

ここでは、今まで設定した情報が表示されます。内容を確認されましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

ファイルのコピー、DLL,OCX の登録、レジストリへの設定を開始します。

途中で、「前バージョンからの情報を継承しますか?」という確認メッセージ

が表示されます。上書きする場合は、必ず、[はい] ボタンを選択してください。これにより、Version1.xx で設定したデバイスの情報が、Version2.xx で使用が可能となります。すべてが処理されるまでには、数十秒から数分かかります。

しばらくお待ちください。

ここでは [キャンセル] ボタンが有効になっていますが、特別な理由がない限り途中でキャンセルを押さないでください。処理の途中で [キャンセル] ボタンが押された場合、その後の動作は保証されません。必ず再インストールを行ってください。

すべての処理が終了すると、「セットアップの完了」ダイアログが表示されます。

インストールした EPSON OPOS ADK に関する情報が記載されているリリースノートを表示するかどうかをチェックボックスで選択することができます。必ずお読みください。

ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP であった場合、EPSON TM USB Driver のインストールメッセージが表示されます。

EPSON の USB デバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。

ご使用の OS が Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP であった場合、パラレル I/F を使用するかどうかのメッセージが表示されます。

EPSON のパラレルデバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。推奨されるパラレル Driver をインストールします。

なお、パラレル Driver のインストールに成功すると、システムファイルが更新されるため、システムの再起動を確認するメッセージが表示されます。その時点で再起動を行うか、後から再起動を行うかを選択し、実行してください。

なお、システムの再起動の確認で、後から再起動を行うように選択した場合は、必ずインストール終了後にシステムを再起動してください。再起動を行っていない環境での動作は一切保証されません。

インストールが完了しました。SetupPOS ユーティリティが自動的に起動します。「EPSON OPOS ADK マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」の「第 4 章 SetupPOS ユーティリティ」に記載されている仕様に従い、設定を確認してください。

なお、システムの再起動を行った場合は、SetupPOS ユーティリティは自動的に起動されませんので、スタートメニューから SetupPOS ユーティリティの起動を行ってください。

これ以降、Version1.xx をアンインストールすることができます。

アンインストールする場合は、Version2.xx に付属されているアンインストーラをお使いください。

*Version2.xx がインストールされている状態で、Version1.xx 付属のアンインストーラを使うことは危険です。その後の動作は保証されません。

2.4.2.3 Version1.xx と Version2.xx を共存インストールする場合

共存とは、Version1.xx のデバイスと Version2.xx のデバイスを混在して使用することを示します。しかし、以下に示すような制限事項がありますので、できるだけ単独でご使用していただくことをお勧めします。

< 共存の制限事項 >

同一ポートにハイドラ設定されているデバイスを、バージョンをまたいで共存させることはできません。

(例) Version1.xx : Printer, Display, Drawer がハイドラ設定されている。
Version2.xx : Printer のみインストールしようとした場合。

この場合は、Version2.xx でも、Printer, Display, Drawer がインストールされなければ、全ての設定をそのまま継承することはできません。Printer のみが情報継承され、Display, Drawer は、デバイスの設定が削除されます。

また、キーボードインタフェースを共有しているデバイスも、バージョンをまたいで共存させることはできません。

(例) Version1.xx : MSR, Keylock。
Version2.xx : Keylock のみインストールしようとした場合。

この場合は、Version2.xx でも、Keylock, MSR がインストールされなければ、全ての設定をそのまま継承することはできません。Keylock のみが情報継承され、MSR は、デバイスの設定がどちらのバージョンからも削除されます。

制限事項の対象となるのは下記のデバイスです。

COM ハイドラ : Printer, Display, Drawer
キーボードハイドラ : MSR, Keylock

< インストール手順 >

～ の手順は、本マニュアルの「2.4.2.1 の Version2.xx から Version2.xx への上書き」と同様です。

「インストールタイプの選択」ダイアログが表示されます。

フルインストールか、カスタムインストールのどちらかを選択してください。カスタムインストールを行う場合は、Version2.xx で使用したいデバイスのみを指定することができます。この場合は、情報継承の制限事項を必ず理解された上で指定してください。

フルインストール、カスタムインストールの詳細につきましては、「2.6 インストールの種類」を参照してください。

ここでカスタムインストールを選択されると、「コンポーネントの選択」ダイアログが表示されます。必要なコンポーネントを選択してください。

CO、CCO の登録は、デバイスごとに設定することができます。

CO、CCO のいずれも登録されない場合は、Used CO のチェックを外してください。この設定はデバイスごとに必要になります。

次のダイアログに進まれる場合は、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「ファイルコピーの開始」ダイアログが表示されます。

ここでは、今まで設定した情報が表示されます。内容を確認されましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

ファイルのコピー、DLL,OCX の登録、レジストリへの設定を開始します。

途中で、「前バージョンからの情報を継承しますか?」という確認メッセージが表示されます。上書きする場合は、必ず、[はい] ボタンを選択してください。これにより、Version1.xx で設定したデバイスの情報が、Version2.xx で使用が可能となります。[いいえ] ボタンを選択した場合は、Version1.xx の情報がそのまま残ります。

すべてが処理されるまでには、数十秒から数分かかります。

しばらくお待ちください。

ここでは [キャンセル] ボタンが有効になっていますが、特別な理由がない限りは途中で [キャンセル] ボタンを押さないでください。処理の途中で [キャンセル] ボタンが押された場合、その後の動作は保証されません。必ず再インストールを行ってください。

すべての処理が終了すると、「セットアップの完了」ダイアログが表示されます。

インストールした EPSON OPOS ADK に関する情報が記載されているリリースノートを表示するかどうかをチェックボックスで選択することができます。必

ずお読みください。

ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP であった場合、EPSON TM USB Driver のインストールメッセージが表示されます。

EPSON の USB デバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。

ご使用の OS が Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP であった場合、パラレル I/F を使用するかどうかのメッセージが表示されます。

EPSON のパラレルデバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。推奨されるパラレル Driver をインストールします。

なお、パラレル Driver のインストールに成功すると、システムファイルが更新されるため、システムの再起動を確認するメッセージが表示されます。その時点で再起動を行うか、後から再起動を行うかを選択し、実行してください。

なお、システムの再起動の確認で、後から再起動を行うように選択した場合は、必ずインストール終了後にシステムを再起動してください。再起動を行っていない環境での動作は一切保証されません。

インストールが完了しました。SetupPOS ユーティリティが自動的に起動します。「EPSON OPOS ADK マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」の「第 4 章 SetupPOS ユーティリティ」に記載されている仕様に従い、設定を確認してください。

なお、システムの再起動を行った場合は、SetupPOS ユーティリティは自動的に起動されませんので、スタートメニューから SetupPOS ユーティリティの起動を行ってください。

2.4.2.4 その他

既に Version1.xx と Version2.xx が共存インストールされている状態で、更に Version2.xx から Version2.xx のバージョンアップを行った場合は、本マニュアルの「2.4.2.1 Version2.xx から Version2.xx への上書き」のみが適用されますので、該当する記述を参照してください。

2.5 インストールされるファイル

インストールが正常に終了すると、下記のファイルがインストールされます。

- プログラムファイル

インストール先フォルダの下に展開されます。CO、SO、各種ユーティリティ、デバイス情報ファイルが該当します。

インストール時に、インストールモジュールの選択でプログラムファイルを指

定すると、これらがインストールされます。

- インクルードファイル
インストール先フォルダの Include フォルダに展開されます。OPOSに必要なC++用ヘッダファイル、VB用ヘッダファイル、COのTLBファイルが該当します。インストール時に、インストールモジュールの選択でプログラムファイルを指定すると、これらがインストールされます。
- サンプル
インストール先フォルダの Sample フォルダに展開されます。VC++用、VB用のサンプルプログラムが該当します。それぞれ、デバイスごとにフォルダが作成され、ファイルがコピーされます。
インストール時に、インストールモジュールの選択でサンプルを指定すると、これらがインストールされます。
- マニュアル
インストール先フォルダの Manual フォルダに展開されます。「EPSON OPOS ADK マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」と、「EPSON OPOS ADK マニュアル アプリケーション開発ガイド」の各種が該当します。
インストール時に、インストールモジュールの選択でマニュアルを指定すると、これらがインストールされます。
- EPSON TM USB Driver ファイル
インストール先フォルダの Tmusb フォルダに展開されます。EPSON TM USB Driver のインストーラと関連ファイルが該当します。
それぞれ、OSごとにフォルダが作成され、ファイルがコピーされます。これらは必ず、インストールされます。
- パラレル Driver ファイル
インストール先フォルダの Lilac フォルダに展開されます。パラレル Driver のインストーラと関連ファイルが該当します。
それぞれ、OSごとにフォルダが作成され、ファイルがコピーされます。これらは必ず、インストールされます。

2.6 インストールの種類

インストールには、フルインストールとカスタムインストールがあります。これらは、「インストールタイプの選択」ダイアログで選択することができます。

- フルインストール
サポートしているすべてのデバイスをインストールします。サポートされてい

るデバイスにつきましては、インストールディスクに含まれていますリリースノート (Relnote.txt) をお読みください。

- **カスタムインストール**
サポートしているすべてのデバイスの中からインストールしたいデバイスを選択します。選択できる単位はデバイスクラスです。「インストールタイプの選択」ダイアログで、カスタムインストールを選択すると、「コンポーネントの選択」ダイアログが表示されます。ここで表示されるのがインストールできるデバイスの一覧です。
インストールしたいデバイスのみをチェックしてください。

2.7 CO の登録

EPSON OPOS ADK では、CCO と EPSON CO のいずれかをインストール、および登録することができます。さらに、双方とも登録しないを選択することにより、前バージョンや他社の CO をそのまま使用することもできます。

このように複数の CO を使用される場合は、以下の注意が必要です。

(VB でアプリケーションを作成する場合)

VB のコンポーネントの追加でコントロールをフォームに貼り付ける

この場合は、コンポーネントダイアログボックスに CO のタイプライブラリに適用される文字列が表示されます。

この文字列は個別のものであるため、実際に使用したい CO を選択することが可能です。複数の CO を登録されている場合は、使用したい CO をコンポーネント一覧から選択してください。

Create Object でプログラム ID を指定して CO を作成する

この場合は、CO のプログラム ID を指定します。

プログラム ID は、OPOS の仕様で決まっている文字列です。

例えば、POSPrinter の CO ならば、"OPOS.POSPrinter"です。

同じデバイスクラスの CO が複数登録されている場合は、後から登録された CO が作成されます。

この方法を利用される場合には、CO の登録の順序にも注意を払わなければなりません。

WithEvent を用いて CO を作成する

この場合は、as Object とすることができませんので、as Class Name とする必要があります。

CO の Class Name は同じ場合もありますし、異なる場合もあります。

WithEvent を用いて変数を宣言する前に、 の方法でコンポーネントを選択して

いるため、コンポーネント ダイアログ ボックスで選択したコンポーネントが使用されます。

2.8 INI ファイル

INSTALL.INI ファイルはインストールにより指定されたディレクトリへコピーする情報を記述したファイルです。また、SETUP.INI は、SETUP.EXE が参照するファイルです。これらのファイルは、必ず、SETUP.EXE と同じディレクトリに存在する必要があります。これらのファイルの編集は行わないでください。編集をされた場合の動作は保証されません。

2.9 システム設定ファイル

システム設定ファイル(AUTOEXEC.BAT,CONFIG.SYS,SYSTEM.INI)を書き替える必要はありません。

2.10 レジストリファイルを使用したインストール方法

いずれかの PC で作成した環境を別の PC で復元したい場合に使用します。SetupPOS ユーティリティで各種設定を行うと、レジストリに情報を保存します。SetupPOS ユーティリティには、レジストリの必要な情報のみをファイルに格納する機能があります。このファイルをインストーラで指定することにより、同じ環境を復元することが可能です。

この機能を利用する場合は、以下の手順で行ってください。

ここでは、作成元の環境をメイン PC、復元したい環境をターゲット PC と称して説明します。

<手順>

メイン PC に EPSON OPOS ADK をインストールした後、SetupPOS ユーティリティを使用して、各種情報や、各種デバイスの設定を行います。その後、SetupPOS ユーティリティを使用してレジストリの保存を行ってください。その際は、下記の点に注意してファイルを作成してください。

- ・「全体を保存」を指定する。

ターゲット PC にインストールを行います。

この時には、下記の 2 つの方法があります。環境に合わせて選択してください。

- ・通常のインストールの方法でインストールする。
- ・サイレンスインストールの方法でインストールする。

通常のインストールの方法でインストールする場合には、本マニュアルの第

2章「2.4 インストール操作」を参照し、手順に沿って行ってください。
 サイレンスインストールの方法を使用される場合は、本マニュアルの第2章
 「2.12 サイレンスインストール」を参照してください。
 インストール時には、手順 で保存したレジストリファイルを指定してくだ
 さい。

<制限事項>

- レジストリファイルは、必ず、SetupPOS ユーティリティを使用して作成して
 ください。
- レジストリファイルには、これからインストールしようとするバージョンと同
 じバージョンの情報が格納されているか、すでにインストールされている環境
 と同じ情報が入っている必要があります。
- ユーザインタフェースを使用してレジストリファイルを指定する場合は、イン
 ストールするコンポーネントの指定は、ユーザインタフェースに従って、再度
 入力を行ってください。コンポーネントの指定は、自動で設定されません。
- レジストリファイルを使用した場合、情報の継承はできません。

2.11 アドイン機能（サービスパック）について

アドイン機能とは、アップデートに必要なもののみをパッケージしたサービスパ
 ックをインストールする機能です。サービスパックには、ベースとなるバージョンが
 必ず存在します（ここではベースバージョンと呼びます）。

ベースバージョンをリリース以降、デバイス追加等、何らかのアップデートが必要
 になった場合、サービスパックが提供されることがあります。最新サービスパック
 に関しては、メーカーにお問い合わせください。

サービスパックをインストールすると、サービスパックをインストールする前のレ
 ジストリ情報がファイルとしてインストール先に保存されます（ファイル
 名：“OposReg.reg”）。

このレジストリファイルは、ターゲット PC などにベースバージョンのサイレンス
 インストールを行う時に利用してください。

古いバージョンの EPSON OPOS ADK に新しいバージョンを上書きインストール
 する場合にも、この機能が使用されます。これは、既にインストールされている全
 てのデバイス、およびファイルをアップデートするためです。

<手順>

サービスパックディスク内にある SETUP.EXE を実行してください。

この時、他のプログラムはすべて終了させてください。

そうでなければ、インストールに失敗する場合があります。

起動するまでに十数秒かかりますので、しばらくお待ちください。

インストール前のメッセージの表示

インストール前に、既にインストールされているデバイス、またはファイルについてメッセージが表示されます。

サービスパックの場合：

サービスパックに含まれているデバイスが、インストールされていない場合は警告のメッセージが出ます。これは、一度サービスパックをインストールしてしまうとデバイスの追加ができなくなるためです。（下記の<制限事項>を参照）

Version2.xx の新しいバージョンを上書きする場合：

新しいバージョンに含まれているデバイス、及びファイルがインストールされていない場合、質問メッセージが表示されます。メッセージに記述されていないデバイス、またはファイルは全て上書きされます。

他のファイルをインストールしたい場合は、アップデート後に再度インストールを実行してください。

それでもよい場合は、[はい] ボタンを選択してください。[いいえ] ボタンを選択した場合はインストールを中止します。

「ようこそ」ダイアログが表示されます。

内容をお読みいただき、了解されましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

「製品ライセンス契約」ダイアログが表示されます。

EPSON OPOS ADK をインストールする際には、表示されている契約に同意していただく必要があります。内容をお読みいただき、同意されましたら「使用許諾に同意します」を選択してください。

「使用許諾に同意します」を選択すると、[次へ] ボタンが有効になりますので、[次へ] ボタンを選択してください。

[次へ] ボタンを選択すると、ライセンス契約同意についての再確認メッセージが表示されます。

同意される場合は、[はい] ボタンを選択してください。

同意されない場合は、[いいえ] ボタンを選択し、「使用許諾に同意しません」を選択した後に、[キャンセル] ボタンを選択してください。インストールを終了します。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「情報一覧」ダイアログが表示されます。

既にインストールされている EPSON OPOS ADK の情報が表示されます。内容を確認していただき、問題がなければ [次へ] ボタンを選択してください。

「レジストリファイルのインポート」ダイアログが表示されます。

REG ファイルを使用しない場合には、「レジストリファイルは使用しない」を選択し、[次へ] ボタンを選択してください。

REG ファイルを使用する場合には、「レジストリファイルを使用する」を選択してください。選択するとテキストボックスが有効になりますので、使用する REG ファイルをフルパス指定で入力し（デフォルトではフロッピードライブに在り処を示す“A:\OPOSDATA.reg”が入力されています）、[次へ] ボタンを選択してください。[参照] ボタンを選択してフォルダを指定することも可能です。

REG ファイルとは、EPSON OPOS ADK に関する情報を復元するためのファイルです。SetupPOS ユーティリティを使用して作成してください。

不正なレジストリファイルが選択された場合には、エラーメッセージが表示され次のダイアログボックスに移ることはできません。エラーメッセージに従い、レジストリファイルが正しいかどうかを確認してください。レジストリファイルが正しく設定されると、これ以降の情報はレジストリファイルから参照されます。上書きインストール時には、前回のインストール情報ではなく、レジストリファイルの情報が優先されます。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「インストールモジュールの選択」ダイアログが表示されます。

インストールするモジュールを選択（チェック）してください。モジュールには「プログラムファイル（OPOS ADK）」、「サンプル」と「マニュアル」があります。既にインストールされているモジュールは選択できません。

決定しましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「ファイルコピーの開始」ダイアログが表示されます。

ここでは、今まで設定した情報が表示されます。内容を確認されましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

ファイルのコピー、DLL,OCX の登録、レジストリへの設定を開始します。

すべてが処理されるまでには、数十秒から数分かかります。

しばらくお待ちください。

ここでは [キャンセル] ボタンが有効になっていますが、特別な理由がない限り途中でキャンセルを押さないでください。処理の途中で [キャンセル] ボタンが押された場合、その後の動作は保証されません。

必ず再インストールを行ってください。

すべての処理が終了すると、「セットアップの完了」ダイアログが表示されま

す。

インストールした EPSON OPOS ADK に関する情報が記載されているリリースノートを表示するかどうかをチェックボックスで選択することができます。必ずお読みください。

ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP であり、古い EPSON TM USB Driver がインストールされている、もしくはインストール情報が存在しない場合、EPSON TM USB Driver のインストールメッセージが表示されます。

EPSON の USB デバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。

ご使用の OS が Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP であり、パラレル Driver のインストール情報が存在しない場合、パラレル I/F を使用するかどうかのメッセージが表示されます。EPSON のパラレルデバイスを使用する場合には、必ず、[はい] ボタンを押してインストールを行ってください。推奨されるパラレル Driver をインストールします。

なお、パラレル Driver のインストールに成功すると、システムファイルが更新されるため、システムの再起動を確認するメッセージが表示されます。その時点で再起動を行うか、後から再起動を行うかを選択し、実行してください。

なお、システムの再起動の確認で、後から再起動を行うように選択した場合は、必ずインストール終了後にシステムを再起動してください。再起動を行っていない環境での動作は一切保証されません。

インストールが完了しました。SetupPOS ユーティリティが自動的に起動します。「EPSON OPOS ADK マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」の「第 4 章 SetupPOS ユーティリティ」に記載されている仕様に従い、設定を確認してください。

なお、システムの再起動を行った場合は、SetupPOS ユーティリティは自動的に起動されませんので、スタートメニューから SetupPOS ユーティリティの起動を行ってください。

<制限事項>

- サービスパックをインストールする場合は、必ず、先にベースバージョンをインストールしてください。
- サービスパックのバージョンが大きいものであれば、順序に関係なくインストールすることができます。

例えば、ベースバージョンにサービスパックバージョン 3 をアドインすることが可能です。特に、サービスパックバージョン 1 や 2 をインストールする必要はありません。

- 現在インストールされているサービスパックのバージョンより古いバージョンをインストールすることはできません。
 例えば、サービスパックバージョン3がインストールされている状態で、サービスパックバージョン1や2を後からインストールすることはできません。
- サービスパックをインストールすると、ベースバージョンは上書インストールできなくなります。
 また、サービスパックのみのアンインストールはできません。つまり、サービスパックをインストールしてしまうと、デバイスの追加などができなくなります。
 サービスパックを導入する前には、必ず、ベースバージョンをインストールし直すか、上書インストールするなどして、使用するデバイスをインストールしてからサービスパックの導入を行ってください。

2.12 サイレンスインストール

ユーザインタフェースを使用せずにインストールをすることができます。これをサイレンスインストールと呼びます。この機能は、本マニュアルの第2章「2.10 レジストリファイルを使用したインストール方法」で説明したレジストリファイルを使用しますので、そちらを参照してください。

この機能は主に、ターゲット PC へのインストールに使用することができます。メイン PC へのインストールは、通常のユーザインタフェースを使用したインストールをご使用ください。

ターゲット PC、メイン PC につきましては、本マニュアルの第2章「2.10 レジストリファイルを使用したインストール方法」を参照してください。

サイレンスインストールを行った場合は、レジストリファイルをもとにメイン PC と同じ情報が復元されます。

サイレンスインストールでは、マニュアル、サンプルプログラムのインストールはできません。

この機能を利用する場合は、下記の手順で行ってください。

<手順>

メイン PC に、EPSON OPOS ADK をインストールした後、SetupPOS ユーティリティを使用して、各種情報や各種デバイスの設定を行います。その後、SetupPOS ユーティリティを使用してレジストリの保存を行ってください。

その際は、下記の点に注意してファイルを作成してください。

- ・「全体を保存」を指定する。

ターゲット PC にインストールを行います。
コマンドラインを使用し下記のように指定を行ってください。

フルパス付き Setup.exe /a"フルパス付きレジストリファイル名"
例) : A:¥Setup.exe /a"A:¥OposReg.reg"

コマンドラインに以下のパラメータを付加することで、サイレンスインストールに機能を追加します。

以下のパラメータは同時に使用することも可能です。

同時に使用する場合は、付加したパラメータに続けて、付加したいパラメータを コマンドラインへ入力してください。

なお、各パラメータは大文字と小文字を区別しませんので、例のように小文字で指定しなくても実行が可能です。

<サイレンスインストール後、再起動する場合>

付加するパラメータ : " /n"

使用例) : A:¥Setup.exe /a"A:¥OposReg.reg" /n

<サイレンスインストール後、EPSON TM USB Driver をインストールする場合>

付加するパラメータ : " /u"

使用例) : A:¥Setup.exe /a"A:¥OposReg.reg" /u

<サイレンスインストール後、パラレル Driver をインストールする場合>

付加するパラメータ : " /p"

使用例) : Setup.exe /a"A:¥OposReg.reg" /p

・結果はログファイルに格納されます。

ログファイルはインストール先ディレクトリに Silence.log という名前で作成されます。エラーについても、すべてここで知ることができます。

ただし、インストールが完了するまではインストール先が確定しないため、Windows があるドライブのルート(例:"C:¥")に作成されます。サイレンスインストール終了後は、必ず、ログファイルでエラーが無いことを確認してください。

< Silence.log の見方 >

[SilenceMode Log]

Silence Mode Start : サイレンス処理開始

[SilenceMode Log End] : サイレンス処理終了
 ERROR : エラーメッセージ
 WARNING : ワーニングメッセージ
 INFORMATION : 情報
 MESSAGE : メッセージ

メッセージにつきましては、本マニュアルの第 2 章「2.13 メッセージ」に表記されているものと同様のものが格納されます。

Silence.log は一度作成されると、そこに結果が追加されていきますので、最新の結果は、最後のサイレンス処理の開始以降部分を参照してください。

<制限事項>

- サイレンスインストールには必ずレジストリファイルが必要です。
- ベースバージョンで保存したレジストリファイルはベースバージョンのサイレンスインストールでのみ使用できます。サービスパックのインストールには使用できません。
- サービスパックをサイレンスインストールする場合に、あらかじめ、そのサービスパックがインストールされた環境でレジストリファイルを作成しておく必要があります。

つまり、サービスパックがインストールされた環境を、ターゲット PC にサイレンスインストールで移す場合は、まずベースバージョン + ベースバージョン用レジストリファイル(サービスパックインストール時に自動的にインストール先に作成されます)でサイレンスインストールし、続いて、サービスパック + サービスパック用レジストリファイルでサイレンスインストールする必要があります。

例) サービスパックサイレンスインストール手順

OPOS Version2.xx を以下のコマンドでサイレンスインストールする。

```
Setup.exe /a"A:¥OposReg.reg"
```

サービスパックを以下のコマンドでサイレンスインストールする。

```
Setup.exe /a"A:¥OposData.reg"
```

注) "OposReg.reg"や"OposData.reg"のレジストリファイルは、あらかじめ、FD に保存しておいた場合の使用例です。

- 使用するレジストリファイルを作成した環境(メイン PC)が、EPSON TM USB

Driver、もしくはパラレル Driver を本インストーラでインストールしていた場合は、パラメータの有無に関わらず、インストールされた Driver のインストールを行います。

ターゲット PC に各 Driver をインストールしたくない場合は、各 Driver のインストールを行っていない PC で、レジストリファイルを作成してください。

- サイレンスインストールでパラレル Driver をインストールした場合、パラレル Driver のインストールに成功してもシステムの再起動は行われません。サイレンスインストールでパラレル Driver をインストールする場合は、再起動パラメータを付加するか、インストール完了後にシステムを再起動する必要があります。

2.13 メッセージ

各ダイアログ等で実行、設定される事項によってメッセージが表示される場合があります。その内容は、以下のとおりです。

2.13.1 起動時のメッセージ

動 作	エラーメッセージ
アドミニストレータ権限をもたないユーザがインストールを行った場合 (Windows NT4.0 / Windows 2000 / Windows XP)	ユーザがアドミニストレータ権限を持っていません。
Install.ini ファイルが存在しない場合	Install.ini ファイルがカレントディレクトリに見つかりません。終了します。
Install.ini ファイルの内容が不正であった場合	インストール用の設定ファイルが見つからないか、内容が改ざんされています。
レジストリ情報が壊れていた場合	レジストリ情報を読み込むことができませんでした。
新しい Version に、前のバージョンを上書きインストールしようとした場合。	本バージョンよりも新しい OPOS が既にインストールされています。
上書き/共存が禁止されている特別なバージョンを、上書き/共存インストールを実行しようとした場合	このバージョンは上書きインストールする事は出来ません。
上書き/共存が禁止されている特別なバージョンがインストールされている状態で、上書き/共存可能なバージョンをインストールしようとした場合	このバージョンの OPOS に上書きインストールする事は出来ません。
共存も上書きもできない特別なバージョンであった場合に、共存/上書きをしようとした場合	レジストリファイルにある OPOS は本バージョンとは共存も上書きも出来ないものです。
言語が違うバージョンが既にインストールされている場合	インストールされている OPOS の言語と本インストールの OPOS の言語が違います。インストールできません。

動 作	エラーメッセージ
COMCTL32.DLL ファイルが指定バージョンより古い場合、壊れている場合、あるいは存在しない場合	EPSON OPOS ADKを正常に利用するためには、現在お使いのPCで使用されているComctl32.DLLをアップデートする必要があります。 このDLLを最新版にアップデートするには、Microsoft社のホームページ上から最新版へのアップデートをダウンロードするなどして入手して、実行してください。（OPOSと一緒にDiskでも提供しています。） DLL をアップデートした後、再度このセットアップを実行してください。

2.13.2 インストール動作中のメッセージ

動 作	エラーメッセージ
インストール先のディレクトリに、EPSON OPOS ADK をインストールする容量がない場合	OPOS をインストールする為に必要な空き容量が確保できません。
EPSON OPOS ADK でインストールするファイルを他のアプリケーションが使用している場合	対象のコンピュータ内のファイルが上書きできません。ファイルが使用中の可能性があります。全てのアプリケーションを終了して再度インストールを最初から行ってください。
カスタムインストールで 1 つもコンポーネントがチェックされていない場合	コンポーネントがチェックされていません。
レジストリの情報に不正なデータがある場合	レジストリ情報に不正な結果が返ってきました。

動 作	エラーメッセージ
ライセンス契約に同意した場合	本当に使用許諾契約に同意しますか？

2.13.3 インストール後のドライバインストール時のメッセージ

動 作	エラーメッセージ
実行中の OS に対するドライバが存在しない場合	現在使用中の OS はサポート外です。
パラレルドライバをインストールする処理で失敗した場合	パラレルドライバのインストール処理に失敗しました。
パラレルドライバをインストールした際にエラーが返った場合	パラレルドライバのインストーラがエラーを返しました。
パラレルドライバをインストールした際に予期しないエラーが返った場合	予期せぬエラーが検出されました。

動 作	メッセージ
EPSON OPOS ADK のインストールが完了し、USB ドライバのインストール情報がない場合(Windows2000 / WindowsXP)	TMUSB ドライバをインストールしますか？
EPSON OPOS ADK のインストールが完了し、パラレルドライバのインストール情報がない場合 (WindowsNT4.0 / Windows2000 / WindowsXP)	パラレル I/F を使用しますか？
パラレルドライバが正常にアップデートされた場合	パラレル I/F を使用するために、コンピュータを再起動する必要があります。 直ちに再起動を行う場合は、ドライブからディスクを取り出してから、[はい] ボタンを押下してください。 後で再起動を行う場合は、[いいえ] ボタンを押下してください。

2.13.4 サイレンスモード指定時のメッセージ

動 作	エラーメッセージ
サイレンスインストールのコマンドラインパラメータに不正な値が指定された場合	コマンドラインパラメータの書式が違います。以下のように定義してください。setup /a"RegData.reg"
コマンドラインで存在しないレジストリファイルが指定された場合	コマンドラインパラメータで指定されたレジストリファイルが見つかりません。
サイレンスモードのログファイルが作成できない場合	サイレンスログファイルの作成に失敗しました。
パラメータにサポートしていないレジストリファイルが指定された場合	コマンドラインで指定されたレジストリファイルが不正です。

2.13.5 レジストリファイル関連のメッセージ

動 作	エラーメッセージ
レジストリファイルのインポート、または起動時のパラメータの指定で、インストールされていないバージョンのレジストリファイルを指定された場合	レジストリファイルに記録されているバージョンが、本インストールのバージョンと一致しません。
共存インストール時、インストールされていないバージョンと共存されたレジストリファイルを指定された場合	レジストリファイル内の共存バージョンと、現在インストールされている OPOS のバージョンが違います。
単独インストール時に、共存情報を持つレジストリファイルが指定された場合	レジストリファイル内にある共存バージョンが対象のコンピュータにインストールされていません。
レジストリファイルのインポート、または起動時のパラメータの指定で、言語が違うバージョンで作成されたレジストリファイルが指定された場合	レジストリに記録されている OPOS の言語が、本インストールの言語と一致しません。
サポートされていないバージョンで作成されたレジストリファイルが指定された場合	本インストールでサポートできないバージョンの情報がレジストリファイルに含まれています。このレジストリファイルは使用できません。
レジストリファイルの内部処理が何らかの理由により正常に動作しない場合	選択されたレジストリファイルのコピーの作成に失敗しました。レジストリファイルの選択は無効になります。
既存バージョンとの共存時に、レジストリファイルのインポート、または起動時のパラメータの指定で Version2.xx のみの情報をもつレジストリファイルを指定された場合	このレジストリファイルは本バージョンのみの情報を持ちます。共存インストール時には使用できません。

2.13.6 共存インストール時のメッセージ

動 作	エラーメッセージ
共存対象以外のバージョンと共存インストールしようとした場合。	本バージョンと共存できない OPOS が既にインストールされています。これをアンインストールしてから、再度インストールを起動してください。

2.13.7 アドインインストールのメッセージ

動 作	エラーメッセージ
ベースバージョンと言語が違うアドインサービスパックをインストールしようとした場合	インストールされている OPOS の言語情報が違います。
アドインサービスパックのベースバージョンでないバージョンがインストールされている状態で、サービスパックをインストールしようとした場合	インストールされているバージョンがサポート対象ではありません
アドインサービスパックがインストールされている状態でベースバージョンをインストールしようとした場合	この OPOS には既にサービスパックがインストールされています。
アドインサービスパックのベースバージョンがインストールされていない状態で、サービスパックのみをインストールしようとした場合	サービスパック対応バージョンの OPOS がインストールされていません。
アドインサービスパックに含まれているデバイス及びファイルがベースバージョンでインストールされていない場合	SPxに含まれている下記デバイス、およびファイルがインストールされていません。 ---- ---- 必要があれば、上記ファイルをインストール後に再度ServicePackxのインストールを実行してください。 継続してよろしいですか？

動 作	エラーメッセージ
既にインストールされているバージョンのパッケージに含まれているデバイス及びファイルが既にインストールされていない場合	Ver2.xxに含まれている下記デバイス、およびファイルがインストールされていません。 ---- ---- 既にインストールされているファイルのみアップデートします。 その後、他のファイルをインストールしたい場合は再度インストールを実行してください。 継続してよろしいですか？

2.14 インストール時の注意

- バージョン、言語（US版、J版）の相違する EPSON OPOS ADK が既にインストールされている場合は、上書きインストールをすることはできません。
- バージョン(サービスパック含む)、言語(US版、J版)が相違する EPSON OPOS ADK 上で格納したレジストリ情報ファイルを読み込むことはできません。
- レジストリファイルのインポートで指定された REG ファイル情報に格納されているデバイス（SetupPOS ユーティリティで REG ファイルに格納した際にインストールされていたデバイス、または、登録されていたデバイス）は、必ずインストールしてください。これらが相違した場合の動作は保証されません。
- REG ファイルの情報： POSPrinter, LineDisplay, Scanner
- インストールされたデバイス： Scanner

上記のような設定を行うと、POSPrinter、LineDisplay は、設定だけが有効となり実際のファイルが存在しないといった矛盾が発生します。

- 何らかの理由により、インストールに失敗した場合、またはキャンセルした場合には、かならず再インストールを行ってください。インストールに失敗、キャンセルした状態でアンインストールを実行しても、完全に環境等が削除されない場合があります。
また、再インストール後でも動作が不安定な場合は、最初の失敗のために正常に登録できなかったことが考えられます。このような場合は、お手数ですが一度アンインストールしてから、再々度インストールをし直すことをお勧めします。

- USB の POSPrinter、LineDisplay、CashDrawer を使用する場合、インストール前に、あらかじめ、「EPSON TM USB Driver」（EPSON USB Controller for TM Printer Series）をインストールしてください。「EPSON TM USB Driver」がインストールされていない場合、USB の OPOS 情報はインストールされません。「EPSON TM USB Driver」を使用される方は、必ず、「EPSON OPOS ADK マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」の「第 5 章 EPSON TMUSB Driver」をお読みください。
- Version1.xx と Version2.xx を共存インストールしてある状態で、Version1.xx に付属のアンインストーラをご使用されると、その後の Version2.xx の動作は正常にされません。必ず、Version2.xx を先にアンインストールしていただくか、Version2.xx に付属されているアンインストーラを使用して Version1.xx をアンインストールしてください。
- Version1.xx と Version2.xx を共存インストールしてある状態で、Version2.xx をアンインストールした場合、その後の Version1.xx の動作は保証されません。再度、Version1.xx をインストールして、所定の設定を行ってください。
- SetupPOS ユーティリティを使用して、CCO のインストールやアンインストールを行うことができますが、この後、インストーラと連動させることはできません。インストーラで CCO をインストールしていない状態で、SetupPOS ユーティリティから CCO を登録した場合や、インストーラで CCO をインストールしてある状態で、SetupPOS ユーティリティから CCO を解除した場合は、インストーラのメッセージ等が不適切になる場合があります。
- Version1.xx に Version2.xx を上書きする場合、Version1.xx で設定されているデバイス毎の個々の設定は、継承されないケースがあります。（トレースファイル名をデフォルトにしてある場合。）情報継承後に設定をなおしてください。また、Version1.xx と Version2.xx を共存している場合、「全体をトレースする」がそれぞれで指定されていると、どちらか片方の Version のトレースしか取ることができません。
- サイレンスインストール後に再起動するように指定した場合、インストールの終了後に強制的にシステムが再起動します。編集中のデータがある場合は、インストールを実行する前に保存、終了させておくことをお勧めします。

本インストーラでパラレル Driver をインストールし、パラレル Driver のインストールに成功した場合は、必ずシステムの再起動を行ってください。システムの再起動を行うことで、推奨するパラレル Driver の使用が可能となります。

システムの再起動を行わなかった場合の動作は、一切保証されませんので、ご注意ください。

- インストールが完了すると、インストール先フォルダに EPSON TM USB Driver のインストーラが格納されている”Tmusb”という名前のフォルダと、推奨するパラレル Driver のインストーラが格納されている”Lilac”という名前のフォルダが作成されます。

本インストーラでそれらの Driver をインストールしなかった場合でも、後からインストールしたい Driver のインストーラを実行することでインストールが可能です。

但し、Driver のサポート外となっている OS では、それらの Driver をインストールしないでください。サポート外の OS にインストールしたことで問題が発生しても、動作の保証はされません。

2.15 アンインストール

インストールした EPSON OPOS ADK をアンインストールする場合は、必ず、専用のアンインストーラを使用してください。アンインストーラを実行するには、下記の方法があります。

- コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」を選択し、EPSON OPOS ADK Version2.xx を選択する。
- インストール先のディレクトリから、Uninstaller.exe を実行する。

いずれの場合も、EPSON OPOS ADK 専用のアンインストーラが実行されます。

アンインストールを行う場合は、OPOS のファイルを使用しているアプリケーションはもちろんのこと、他のアプリケーションが動作していないことを必ず確認してください。

なお、Windows NT4.0 / Windows 2000 / Windows XP をご使用の場合は、使用するマシンの特権レベルを持ったユーザ以外は、インストールプログラムを使用することができません。使用するマシンの特権レベルを持つユーザにご相談ください。

2.16 アンインストール操作

前述で説明したいずれかの方法でアンインストーラを実行します。

「使用上の注意」ダイアログボックスが表示されます。

ここでは、アンインストーラの対応バージョン、および使用上の注意が表示されています。アンインストールしようとするバージョンが含まれているかを確認してください。

続けて使用する場合は、[はい] ボタンを選択してください。

そのまま終了する場合は、[いいえ] ボタンを選択してください。

「ADK バージョンの選択」ダイアログが表示されます。

現在インストールされている EPSON OPOS ADK のバージョンがすべて表示されます。アンインストールしたいバージョンを選択してください。複数の選択はできません。

[選択されている ADK 構成を完全に削除する] チェックボックスをチェックしている場合は、フルアンインストールが行われます。チェックをはずすと削除するデバイスを選択することができます。

選択されましたら、[次へ] ボタンを選択してください。チェックしている場合は へ移ります。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

「削除するデバイスの選択」ダイアログが表示されます。

[削除候補デバイス] ウィンドウには、現在インストールされているデバイスが表示されます。削除するデバイスを選択し、[] ボタンを押してください。

[削除対象デバイス] ウィンドウにデバイスが移ります。再び戻す場合は、[] ボタンを押してください。[削除対象デバイス] ウィンドウから [削除候補デバイス] ウィンドウにデバイスが移ります。

[削除候補デバイス] ウィンドウの全デバイスを、[削除候補デバイス] ウィンドウに移したい場合は、[全て] ボタンを押してください。全デバイスが移ります。

選択されましたら、[次へ] ボタンを選択してください。

前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください

「削除の確認」ダイアログが表示されます。

アンインストールに関する情報が記載されていますので、内容を確認してください。

[開始] ボタンを選択すると、アンインストールを開始します。

削除を開始せず、前のダイアログに戻りたい場合は、[戻る] ボタンを選択してください。

- アンインストール処理が開始されます。アンインストール状態を示すブ

- プログレスバーが表示されます。
- アンインストール処理が終了すると、終了を示すメッセージが表示されます。

2.17 アンインストールの種類

アンインストールには、フルアンインストールとカスタムアンインストールがあります。これらは、「ADK バージョンの選択」ダイアログの [選択されている ADK 構成を完全に削除する] チェックボックスで選択することができます。

- フルアンインストール
選択されたバージョンで登録したすべてのデバイスを削除することができます。
- カスタムアンインストール
選択されたバージョンで登録したすべてのデバイスの中からアンインストールしたいデバイスを選択します。「削除するデバイスの選択」ダイアログでデバイスを選択してください。指定できるデバイスの単位は、デバイスクラスごととなります。

2.18 サイレンスアンインストール

ユーザインタフェースを使用せずにアンインストールをすることができます。これをサイレンスアンインストールと呼びます。

サイレンスアンインストールを使用した場合は、フルアンインストールのみを行います。コマンドラインより下記のように指定してください。

```
Uninstaller.exe /S
```

/S のみをパラメータに指定することにより、現在インストールされているバージョンをアンインストールします。これは、現在インストールされているバージョンが 1 つの場合に限ります。

複数のバージョンがインストールされている場合には、エラーが表示されます。複数のバージョンがインストールされている場合には、下記のように指定をしてください。

```
Uninstaller.exe /S “バージョン”
```

例) Uninstaller.exe /S “1.90”

2.19 システムファイルのアンインストール

MFC42.DLL、MSVCRT.DLL、OLEAUT32.DLL、STDOLE2.TLB、OLEPRO32.DLL等は、システムディレクトリから削除されません。

2.20 アンインストールメッセージ

各ダイアログ等で実行、設定される事項によってメッセージが表示される場合があります。内容は、以下のとおりです。

動 作	エラーメッセージ
アドミニストレータ権限を持たないユーザがアンインストールを行った場合	アドミニストレータ権限を持たないユーザは、このアンインストーラを利用する事は出来ません。
OPOS がインストールされていない状態でアンインストールを起動された場合	対象となる OPOS がインストールされていません。
言語が違うバージョンのアンインストーラが実行された場合。	対象となる言語の OPOS がインストールされていません。
アンインストールに必要な情報がない場合	アンインストールシールドの起動時にエラーが発生しました。不完全な形で終了します。いくつかのコンポーネントを手動で削除してください。
レジストリに不正な情報が入っていた場合。	レジストリを開くときに不正な処理がありました。アンインストーラは終了します。
レジストリに必要な情報がなかった場合	レジストリの情報が受け取れませんでした。アンインストーラは終了します。
インストールディレクトリに他のファイルがコピーされていた場合。	ディレクトリの中にファイルがあるか、ディレクトリが開かれている為、削除できませんでした。これらのコンポーネントは手動で削除してください。

動 作	エラーメッセージ
コマンドラインパラメータに不正な値が入っていた場合	パラメータの値が不正です。 Uninstaller /s"X.xx" の記述でなければなりません。
コマンドラインパラメータでインストールされていないバージョンが指定された場合	コマンドパラメータで入力されたバージョンの OPOS がインストールされていないか、コマンドパラメータが不正です。
アンインストールするファイルが使用中だった場合	X.xx は他のアプリケーションで使用中です。このファイルを削除する場合は使用中のアプリケーションを終了して「再試行」を押してください。ファイルを残す場合は「キャンセル」を押してください。
複数インストールされている状態で、コマンドラインパラメータに/s パラメータだけが指定された場合	インストールされている OPOS が一つではありません。バージョンを Uninstaller /s"X.xx" の形で指定するか、通常のアインストールで削除してください。

2.21 アンインストール時の注意

- 言語（US 版、J 版）の相違する EPSON OPOS ADK がインストールされている場合は、アンインストールをすることはできません。
- アンインストールでは、OPOS に関連するファイルが使用されていないことを前提に処理を進めていますが、万が一、OPOS に関連するファイルが使用されていた場合には、削除できない旨のメッセージを表示し、リトライを行います。このメッセージが出た場合には、速やかに関連するファイルを使用しているアプリケーションを終了してください。その後、リトライをすることによりアンインストールが続行します。リトライをしなかった場合には、ディレクトリにファイルのみが残ります。
- アンインストーラを実行する場合は、エクスプローラも閉じてください。特に Windows NT4.0 では、ディレクトリの削除が正常に行われな場合があります。
- 本アンインストーラでは、インストーラで提供している EPSON TM USB Driver および推奨するパラレル Driver のアンインストールは行いませんが、それらの Driver がインストールしてある状態であっても、その後のシステムの動作には影響ありません。